

令和2年度一般会計決算

○決算の概要

高座清掃施設組合（以下「組合」という。）は、海老名市、座間市及び綾瀬市（以下「構成市」という。）から排出される一般廃棄物の中間処理を広域で行うことを目的として設立され、構成市からの分担金が組合運営に充てられています。

処理施設の老朽化に伴い平成25年度に水処理施設（し尿処理施設）、平成30年度にじん芥処理施設（高効率ごみ発電施設、マテリアルリサイクル施設）を更新しました。

更新したじん芥処理施設等の維持管理は、令和元年度から20年間、SPC（特別目的会社）による維持管理として管理機能を移行しました。

組合と組合周辺環境の調和を目的とする本郷ふれあい公園整備事業につきましては、令和元年度に第一工区を供用開始し、令和2年度は第二工区の用地取得に着手しました。

令和2年度一般会計決算額は、歳入総額が3,090,128,258円、歳出総額が2,776,099,953円となりました。歳入総額は前年度決算と比較すると7.2%の増額となり、歳出総額は前年度決算と比較すると20.6%の増額となりました。

歳入歳出差引額は3億1,402万8,305円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支額は2億5,637万2,305円となりました。

（単位：円）

	令和2年度 (a)	令和元年度 (b)	年度比較 (a) - (b)	対前年度 伸率
歳入総額 (A)	3,090,128,258	2,881,435,119	208,693,139	7.2%
歳出総額 (B)	2,776,099,953	2,302,462,736	473,637,217	20.6%
差引額 (A) - (B) (C)	314,028,305	578,972,383	△ 264,944,078	△ 45.8%
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	57,656,000	72,346,000	△ 14,690,000	△ 20.3%
実質収支 (C) - (D) (E)	256,372,305	506,626,383	△ 250,254,078	△ 49.4%
単年度収支 (F)	△ 250,254,078	△ 88,581,206	△ 161,672,872	△ 182.5%
繰上償還額 (G)	0	0	0	—
実質単年度収支 (F) + (G)	△ 250,254,078	△ 88,581,206	△ 161,672,872	△ 182.5%

○歳入決算概要

歳入決算額3,090,128,258円は、対令和元年度（以下「対前年度」という。）208,693,139円（7.2%）の増額となりました。

分担金1,681,424,000円は、対前年度262,677,000円（18.5%）の増額となりました。

主な理由として、運営費分担金は、じん芥処理施設等建設完了に伴い海老名市への交付金増加により、対前年度88,295,000円（7.1%）増額、建設費分担金は、じん芥処理施設等建設事業に伴い平成28年度に借り入れた組合債の元金償還開始により対前年度161,839,000円（112.4%）の増額、周辺環境整備費分担金は、本郷ふれあい公園整備事業に伴い借り入れた組合債の償還により対前年度12,543,000円（36.6%）の増額となりました。

衛生手数料400,473,500円は、事業系可燃物搬入量減少により、対前年度56,998,750円（12.5%）減額となりました。

国庫支出金158,154,000円は、本郷ふれあい公園整備事業に充てる土木費国庫補助金（厚木飛行場周辺公園設置補助金）であり、令和元年度に第一工区の整備工事が完了したため、対前年度11,336,000円（6.7%）の減額となりました。

県支出金のうち土木費県補助金は、本郷ふれあい公園第二工区整備（用地購入費）に充てる神奈川県市町村自治基盤強化総合補助金16,832,000円であり、対前年度1,014,000円（5.7%）の減額となりました。

衛生費県補助金は、旧処理施設（排水処理施設及び粗大ごみ処理施設）解体に充てる同自治基盤強化総合補助金19,102,000円となり、前年度に対し皆増となりました。

財産収入は前年度に対し皆増しており、財産売払収入2,158,465円は、賃貸借に切り替えた公用車（2台）の売却によるものです。不動産売払収入14,494,710円は県道22号及び43号拡幅に伴う公園用地売却代です。

繰越金578,972,383円は、対前年度35,500,806円（5.8%）の減額となりました。

純繰越金506,626,383円は、対前年度88,581,206円（14.9%）の減額、継続費通次繰越は、対前年度皆減、繰越明許費繰越額72,346,000円は、対前年度71,106,000円（5,734.6%）の増額となりました。

なお、繰越明許費繰越額は、海老名市との用地交換に係る測量及び登録業務（総務費2,100,000円）、屋内温水プール特定天井撤去工事（教育費70,246,000円）です。

諸収入592,775円は、対前年度61,424,423円（99.0%）の減額となりました。減額した理由は、前年度、高座クリーンセンターマテリアルリサイクル施設火災に伴う火災保険金によるものです。

組合債216,700,000円は、対前年度76,800,000円（54.9%）の増額となりました。

内訳として、旧処理施設解体に充てる衛生債72,500,000円は、対前年度皆増となりました。

本郷ふれあい公園整備事業に充てる土木債144,200,000円は、対前年度4,300,000円（3.1%）の増額となりました。

歳入

（単位：円）

款	当初予算額 A	補正等予算額 B	予算現額 A+B	歳入決算額 C	執行率 C/(A+B)
1. 分担金及び負担金	1,681,424,000	0	1,681,424,000	1,681,424,000	100.0%
2. 使用料及び手数料	435,181,000	0	435,181,000	401,697,925	92.3%
3. 国庫支出金	160,481,000	0	160,481,000	158,154,000	98.5%
4. 県支出金	6,336,000	55,100,000	61,436,000	35,934,000	58.5%
5. 財産収入	620,000	0	620,000	16,653,175	2,686.0%
6. 繰越金	300,000,000	278,972,000	578,972,000	578,972,383	100.0%
7. 諸収入	206,000	0	206,000	592,775	287.8%
8. 組合債	487,600,000	△ 55,100,000	432,500,000	216,700,000	50.1%
歳入合計	3,071,848,000	278,972,000	3,350,820,000	3,090,128,258	92.2%

○歳出決算概要

歳出決算額2,776,099,953円は、対前年度473,637,217円（20.6%）の増額となりました。

議会費1,139,897円は、対前年度75,422円（7.1%）の増額となりました。支出額の主なものは、議員報酬910,497円及び議会議事録作成に伴う反訳事務（委託料）224,400円です。

総務費434,400,920円は、対前年度113,365,314円（35.3%）の増額となりました。

支出額の大半は、人件費168,804,770円となっています。その他の支出の主なものは、海老名市への交付金191,653,770円、最終処分場等土地借料34,180,766円、公用車及び電算機器等の賃借料18,941,239円です。

民生費23,883,362円は、対前年度1,877,538円（7.3%）の減額となりました。支出額の主なものは、本郷老人福祉センター指定管理料21,463,466円です。

衛生費1,475,438,321円は、対前年度107,488,705円（7.9%）の増額となりました。

増額の主な理由としては、SPCへの委託料、排水処理施設及び粗大ごみ処理施設解体工事（令和2年度執行分）によるものです。支出額の主なものは人件費379,464,036円、じん芥処理施設等を管理運営するSPCへの委託料921,259,476円、排水処理施設及び粗大ごみ処理施設解体工事（令和2年度執行分）92,931,300円です。

なお、排水処理施設及び粗大ごみ処理施設解体工事は、有害物質除去等に時間を要したため287,754,000円を令和3年度へ繰越明許しています。

土木費325,038,133円は、対前年度6,835,965円（2.1%）の減額となりました。

減額した理由として、前年度、本郷ふれあい公園（第一工区）整備工事が完了し、今年度は、本郷ふれあい公園（第二工区）の用地買収を行ったことによるものです。

支出額の主なものは、本郷ふれあい公園（第二工区）整備に伴う用地代313,306,234円です。

教育費191,883,406円は、対前年度81,820,762円（74.3%）の増額となりました。

支出額の主なものは、屋内温水プール修繕費27,247,880円、高座施設組合屋内温水プール指定管理料93,055,000円、屋内温水プール特定天井撤去工事70,213,000円です。

公債費324,315,914円は、対前年度179,600,517円（124.1%）の増額となりました。

増額した理由としては、じん芥処理施設等建設事業に伴う元利金償還が対前年度171,183,178円（172.1%）増加、本郷ふれあい公園整備に伴う元利金償還が対前年度8,417,339円（45.9%）増加したことによるものです。

歳出

（単位：円）

款	当初予算額 A	補正等予算額 B	予算現額 A+B	歳出決算額 C	執行率 C/(A+B)
1. 議会費	1,171,000	13,000	1,184,000	1,139,897	96.3%
2. 総務費	450,810,000	△ 4,292,000	446,518,000	434,400,920	97.3%
3. 民生費	27,556,000	0	27,556,000	23,883,362	86.7%
4. 衛生費	1,777,713,000	66,972,000	1,844,685,000	1,475,438,321	80.0%
5. 土木費	354,718,000	1,650,000	356,368,000	325,038,133	91.2%
6. 教育費	102,082,000	90,043,000	192,125,000	191,883,406	99.9%
7. 公債費	327,798,000	0	327,798,000	324,315,914	98.9%
8. 予備費	30,000,000	124,586,000	154,586,000	0	0.0%
歳出合計	3,071,848,000	278,972,000	3,350,820,000	2,776,099,953	82.8%

決算収支(過去5年間)

(単位:円)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
歳入	6,133,422,199	8,675,694,359	11,504,123,838	2,881,435,119	3,090,128,258
1. 分担金及び負担金	2,478,690,000	2,117,803,000	1,681,270,000	1,418,747,000	1,681,424,000
2. 使用料及び手数料	407,702,534	445,304,815	466,327,465	458,961,732	401,697,925
3. 国庫支出金	708,482,000	1,649,971,000	2,895,325,000	169,490,000	158,154,000
4. 都道府県支出金	152,432,000	272,307,000	300,000,000	17,846,000	35,934,000
5. 財産収入	0	0	0	0	16,653,175
6. 繰越金	303,376,691	379,349,265	406,403,234	614,473,189	578,972,383
7. 諸収入	838,974	459,279	29,898,139	62,017,198	592,775
8. 組合債	2,081,900,000	3,810,500,000	5,724,900,000	139,900,000	216,700,000
歳出	5,754,072,934	8,269,291,125	10,889,650,649	2,302,462,736	2,776,099,953
1. 人件費	690,997,538	645,678,725	641,704,128	555,789,692	544,179,303
2. 扶助費	5,065,000	5,060,000	4,815,000	4,640,000	4,290,000
3. 公債費	38,773,437	31,979,014	73,108,740	144,715,397	324,315,914
4. 普通建設事業費	3,178,335,256	5,824,891,832	9,067,623,775	332,990,845	484,350,758
5. 災害復旧事業費	0	0	0	0	0
6. 物件費	992,933,401	994,358,178	764,876,712	1,140,201,130	1,149,616,579
7. 補助費等	155,556,996	123,027,172	164,819,602	67,844,172	196,229,849
8. 維持補修費	692,411,306	644,296,204	172,702,692	56,281,500	73,117,550

○歳出の性質別考察

1 義務的経費

義務的経費は、872,785,217円、対前年度167,640,128円(23.8%)の増額となりました。

(1) 人件費

人件費は544,179,303円、対前年度11,610,389円(2.1%)の減額となりました。
減額の理由は、職員数の減少によるものです。

(2) 扶助費

扶助費4,290,000円は、対前年度350,000円(7.5%)の減額となりました。
支出内容は、職員に対する児童手当です。

(3) 公債費

公債費324,315,914円、対前年度179,600,517円(124.1%)の増額となりました。
増額の理由は、じん芥処理施設等建設事業に伴い借り入れた地方債のうち平成28年度借入分の元金償還開始によるものです。

2 投資的経費

投資的経費484,350,758円は全て普通建設事業費となり、対前年度151,359,913円(45.5%)の増額となりました。
増額した理由は、排水処理施設及び粗大ごみ処理施設解体工事92,931,300円、屋内温水プール特定天井撤去工事70,213,000円によるものです。

3 その他

(1) 物件費

物件費1,149,616,579円は、対前年度9,415,449円(0.8%)の増額となりました。
増額の理由は、SPCへの委託料増加によるものです。

(2) 補助費等

補助費等196,229,849円は、対前年度128,385,677円(189.2%)の増額となりました。
増額の理由は、海老名市への交付金増加によるものです。

(3) 維持補修費

維持補修費73,117,550円は、対前年度16,836,050円(29.9%)の増額となりました。
減額の理由は、最終処分場浸出水処理施設、水処理施設、屋内温水プールの施設修繕料によるものです。

○廃棄物等の搬入概要

令和2年度の構成市全体の人口は、令和3年3月1日現在352,785人で、対前年度3,429人（1.0%）の増加となりました。

令和2年度の構成市からのごみ搬入量71,762.16tは、対前年度3,263.63t（4.4%）の減量となりました。内訳は、家庭系可燃物52,707.47tが、対前年度837.89t（1.6%）の減量、事業系可燃物16,018.59tが、対前年度2,279.61t（12.5%）の減量、不燃物1,307.31tが、対前年度373.72t（22.2%）の減量、粗大ごみ1,728.79tが、対前年度227.59t（15.2%）の増量となりました。

また、マテリアルリサイクル施設に搬入された不燃物等搬入量（不燃物搬入量と粗大ごみ搬入量の計）3,036.10tの7.8%に相当する235.80tの非鉄金属（アルミニウム等の有価物）及び鉄分（磁性物）が資源化物として回収されました。

令和2年度の構成市からのし尿搬入量11,007.33tは、対前年度501.60t（4.8%）の増量となりました。

内訳は、生し尿1,369.35tが、対前年度145.49t（9.6%）の減量、浄化槽汚泥9,637.98tが、対前年度

◎構成市の人口

区分	令和2年度	令和元年度	増減	伸率
海老名市	136,981人	134,348人	2,633人	2.0%
座間市	132,116人	130,621人	1,495人	1.1%
綾瀬市	83,688人	84,387人	△699人	△0.8%
計	352,785人	349,356人	3,429人	1.0%

◎ごみ搬入状況

区分	令和2年度	令和元年度	増減	伸率
家庭系可燃物	52,707.47t	53,545.36t	△837.89t	△1.6%
不燃物	1,307.31t	1,681.03t	△373.72t	△22.2%
粗大ごみ	1,728.79t	1,501.20t	227.59t	15.2%
事業系可燃物	16,018.59t	18,298.20t	△2,279.61t	△12.5%
計	71,762.16t	75,025.79t	△3,263.63t	△4.4%

◎し尿搬入状況

区分	令和2年度	令和元年度	増減	伸率
生し尿	1,369.35t	1,514.84t	△145.49t	△9.6%
浄化槽汚泥	9,637.98t	8,990.89t	647.09t	7.2%
計	11,007.33t	10,505.73t	501.60t	4.8%

○付帯施設の利用概要

付帯施設(余熱利用施設)である本郷老人福祉センター及び屋内温水プールは、平成18年度から指定管理者制度を導入しています。

現在の指定管理者 FunSpace・オーチュー運営企業体

指定期間 平成28年4月1日から令和4年3月31日まで（※コロナ禍状況把握のため1年延長）

令和2年度の本郷老人福祉センターの利用者数669人は、対前年度5,981人の減少となりました。利用者内訳は、海老名市が404人、座間市が105人、綾瀬市が160人となりました。

令和2年度の屋内温水プールの利用者数33,612人は、対前年度64,540人の減少となりました。平成5年度に開館以来の利用者累計は、令和3年3月末日現在で3,525,780人(男性1,798,975人、女性1,726,805人)となりました。

◎本郷老人福祉センター利用状況

		令和2年度		令和元年度		利用者数比較	
		利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	増減	伸率
海老名市	男性	263人	23件	1,837人	128件	△1,574人	△85.7%
	女性	141人		1,640人		△1,499人	△91.4%
	計	404人		3,477人		△3,073人	△88.4%
座間市	男性	56人	6件	448人	39件	△392人	△87.5%
	女性	49人		651人		△602人	△92.5%
	計	105人		1,099人		△994人	△90.4%
綾瀬市	男性	116人	10件	1,006人	64件	△890人	△88.5%
	女性	44人		1,068人		△1,024人	△95.9%
	計	160人		2,074人		△1,914人	△92.3%
合計	男性	435人	39件	3,291人	231件	△2,856人	△86.8%
	女性	234人		3,359人		△3,125人	△93.0%
	計	669人		6,650人		△5,981人	△89.9%

◎屋内温水プール利用状況

区分	令和2年度	令和元年度	増減	伸率
男性	18,311人	51,380人	△33,069人	△64.4%
女性	15,301人	46,772人	△31,471人	△67.3%
計	33,612人	98,152人	△64,540人	△65.8%

令和3年度執行状況(令和3年9月30日現在)

歳入 (単位:円)

款	予算現額	収入済額	執行率
1. 分担金及び負担金	2,277,898,000	1,157,746,000	50.8%
2. 使用料及び手数料	371,299,000	165,332,094	44.5%
3. 国庫支出金	205,895,000	0	0.0%
4. 県支出金	51,503,000	0	0.0%
5. 繰越金	157,656,000	314,028,305	199.2%
6. 諸収入	178,000	246,173	138.3%
7. 組合債	513,500,000	0	0.0%
歳入合計	3,577,929,000	1,637,352,572	45.8%

歳出 (単位:円)

款	予算現額	支出済額	執行率
1. 議会費	1,156,000	368,188	31.9%
2. 総務費	442,250,000	95,551,332	21.6%
3. 民生費	28,049,000	10,365,275	37.0%
4. 衛生費	1,781,872,000	637,631,443	35.8%
5. 土木費	551,321,000	116,457,843	21.1%
6. 教育費	132,956,000	37,498,755	28.2%
7. 公債費	619,665,000	263,070,693	42.5%
8. 予備費	20,660,000	0	0.0%
歳出合計	3,577,929,000	1,160,943,529	32.4%

令和3年度高座清掃施設組合の当初予算は、32億9,017万5千円でしたが、前年度から繰り越された繰越明許費繰越額2億8,775万4千円を加え、35億7,792万9千円となりました。

令和3年9月30日現在の予算現額に対する執行状況は、歳入予算について、収入済額16億3,735万2,572円・執行率45.8%、歳出予算について、支出済額11億6,094万3,529円・執行率32.4%となっています。

歳入の執行率が低い主な理由は、周辺環境整備事業等に係る国県支出金及び組合債等は未収であり、これらの特定財源は、完了後において、実績報告等の手続きを経て入金される予定です。

歳出の執行率が低い主な理由は、じん芥処理施設等及び余熱利用施設の管理業務（SPC、指定管理者）の支払いが分割払によるもののほか、周辺環境整備事業に伴う用地購入の進捗によるものです。

なお、9月末における支出負担行為額は14億676万9,460円（執行率は39.3%）です。

財産などの状況(令和3年9月30日現在)

組合債現在高(令和3年9月30日現在) (単位:円)

区分	令和3年3月31日 現在高	令和3年4月1日～令和3年9月30日		令和3年9月30日 現在高
		借入額	元金償還額	
一般廃棄物処理事業債	9,012,597,161	0	232,948,993	8,779,648,168
じん芥処理施設建設事業	8,784,022,124	0	219,398,378	8,564,623,746
水処理施設建設事業	208,456,322	0	12,779,716	195,676,606
構内整備事業	20,118,715	0	770,899	19,347,816
一般補助施設整備等事業債	1,403,300,000	0	6,872,836	1,396,427,164
じん芥処理施設建設事業	1,403,300,000	0	6,872,836	1,396,427,164
公共事業等債	364,797,943	0	6,379,815	358,418,128
公園整備事業	364,797,943	0	6,379,815	358,418,128
一般事業債	233,450,000	0	8,814,500	224,635,500
構内整備事業	62,000,000	0	3,100,000	58,900,000
公園整備事業	171,450,000	0	5,714,500	165,735,500
地方道路等整備事業債	18,632,000	0	717,000	17,915,000
構内整備事業	18,632,000	0	717,000	17,915,000
神奈川県市町村振興資金貸付金	929,596,712	0	0	929,596,712
じん芥処理施設建設事業	889,619,100	0	0	889,619,100
公園整備事業	21,848,658	0	0	21,848,658
構内整備事業	18,128,954	0	0	18,128,954
計	11,962,373,816	0	255,733,144	11,706,640,672

財産(令和3年9月30日現在) (単位:m²)

区分	土地	建物(延床面積)
清掃処理場	56,908.35	32,374.01
本郷老人福祉センター	2,592.47	779.09
埋立処分地	5,398.71	453.23
本郷ふれあい公園	25,068.06	27.62
計	89,967.59	33,633.95

清掃処理場は、し尿処理施設、旧ごみ処理施設、新ごみ処理施設、事務所(緩衝緑地帯を含む)及び車庫、屋内温水プールの土地面積及び建物延床面積を合わせたものです。

本郷ふれあい公園(第二工区)用地取得や神奈川県へ第一工区用地一部売却等により増加しています。今後も本郷ふれあい公園(第二工区)の用地購入による増加、旧処理施設等の解体による減少が見込まれます。